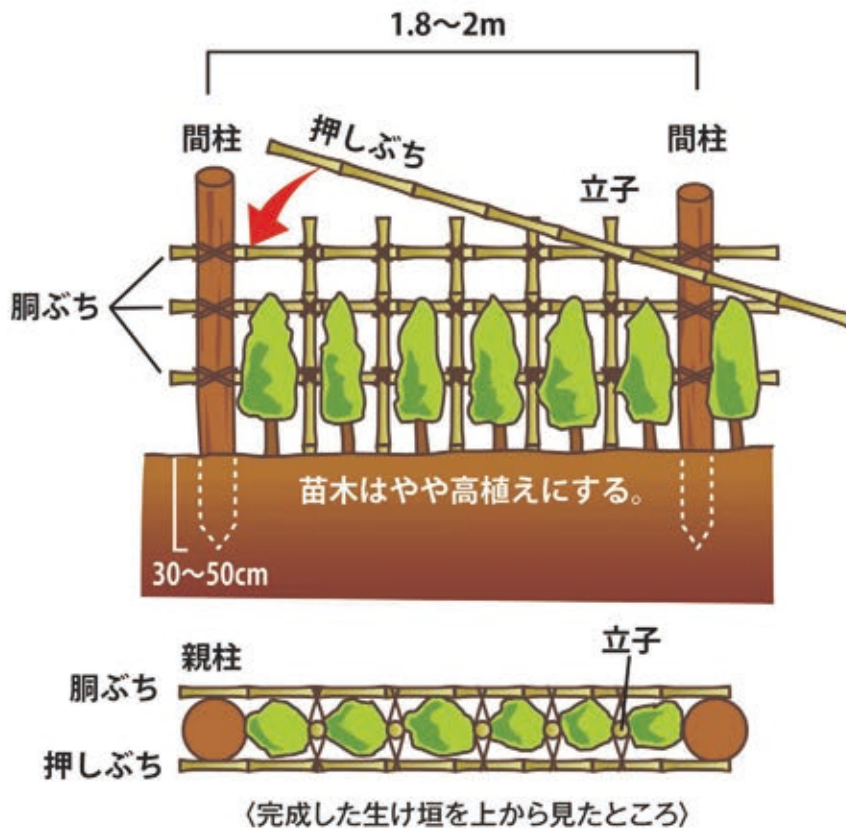


● 生け垣の作り方



1. 垣根をつくる場所の両端に親柱をたてる
(将来の生け垣の幅を考えて、敷地外にはみ出さないように境界より少し(目安として30cm)後退させてたてる)
2. 親柱の上端より10cmくらいさげて水糸を張る。
3. 水糸にそって間柱を1.8m間隔にたてる。
4. 横竹を2~3段くぎで取りつける(胴ぶちという)
5. 庭木の活着をよくするため、植え穴に堆肥や腐葉土を混ぜ込む。
6. 胴ぶちにそわせて30cm間隔に1本苗木を植える。植え終わったら水を与える。
7. 苗木と苗木の間に立子(竹)をたてる。
8. 苗木と立子をはさんで胴縁と平行に横竹(押しぶちという)を取りつけ、しゅろなわで結ぶ。

● 生け垣の手入れ

1. まず仕上がりの高さを決めて、上部から刈り込む。
正確に揃えるには水糸を張っておくと作業しやすい。
2. 側面を刈り込む。ポイントは、上方の幅を狭く、
下方の幅を広げる。(上部の方が育成が早いので、
強めに剪定する。)

